

平成 20 年度第 2 回県立病院事業経営評価委員会 概要

日 時 平成 20 年 10 月 21 日 (火) 10:00 ~ 12:00
場 所 自治会館 1 階 研修室
出席者 8 名 欠席 4 名 (菅家委員、島崎委員、瀬戸委員、湯田委員)

1 委員会の非公開について

- ・ 委員長より『県立病院の在り方について、まだ方向性が定まっていないものが含まれており、公開した場合、委員の自由な意見交換がしにくくなる。』という理由で非公開としたいという提案があり、委員一同了承。

2 議事の内容

改革プランの方向性について事務局より、県立病院の現状と課題、県立病院の在り方、収支計画等を説明した。各委員から以下のような意見が出された。

(県立病院の在り方)

- ・ 矢吹病院については今後とも、政策医療を更に特化させ、病床を減らし人員を効率的に配置していく必要がある。
- ・ 宮下病院については現在の形態でやっていくのであれば、(仮称)会津統合病院の支援が担保される必要がある。
- ・ 宮下・南会津病院については、健康増進の支援を医療機能に掲げているが、これは地域の医療費を減らしていく上では大きな役割がある。

(経営効率化等に向けた取組み等)

- ・ 繰出基準の明確化が必要。
- ・ 収支差補てんのやり方は民間の発想から見て疑問。検討が必要。収支差を繰り入れるのではなく、不採算が見込める基準を設けた上で差額を入れるという考え方も検討すべきではないか。
- ・ やはり経常黒字は減価償却費を含めた上で考える必要がある。